

鳥取県の道路整備ビジョン

鳥取県の産業基盤を強化し、地域経済の活性化を図るとともに、日本海沿岸や近畿・山陽地域との交流・連携の促進、大規模災害時の代替路の確保等を目的として、山陰地方の主要都市間の連携を強化する山陰道や兵庫県・京都府との広域連携に寄与する山陰近畿自動車道（鳥取豊岡宮津自動車道）などの高速道路ネットワークの整備を促進します。また、県民のみなさんが活き活きと安心して暮らすことができる、より良い社会環境を形成するため、地域内の交流を支えるバイパスや交通円滑化のための道路整備を進めます。

今後の道づくりにおける3つの「方向性」を提示し、3つの「視点」を念頭に置いて、道路整備を進めていきます。

道づくりの3つの方向性

交流と連携＜高速道路ネットワークの形成＞

高速道路ネットワークの形成は、鳥取県がこれからさらに激化する地域間競争を生き抜き自立するための最低限の条件です。

- 高速道路の未整備区間の解消
- 鳥取～米子1時間構想
- 環日本海時代の交流拠点

活き活きと＜地域間交流の強化＞

都市でも中山間地域でも全ての人々が活き活きと生活できる鳥取県をつくるため地域間相互の連絡強化は欠かせません。

- 渋滞対策
- 市町村間など地域間の連携強化
- 物流円滑化、観光支援

安全で安心＜安全安心な道づくり＞

人と車が共存し、安全で安心して暮らせるまちづくりはこれまで以上に重要になっています。また、鳥取県西部地震の経験を踏まえ、いざというときでも安心できる道づくりを目指します。

- 交通安全
- 防災対策、危機管理
- 環境対策、環境整備



道づくりの3つの視点

車中心から人中心へ

高齢化社会の到来への対応だけでなく、障がいのある方などすべての人が安心して暮らせるよう、人中心で道づくりを考えています。

- 障がい者、高齢者、健常者の区別なく、すべての人が安心できる道づくり
- 住民参画、共同参画で進める道づくり

全国一律から地域別へ

全国一律の基準ではなく、地域の実情に合った道路の整備を地域住民の理解を得て進めます。

- 自然環境を再生、創出する道づくり
- 住民参画の下、「あれもこれも」から「あれかこれか」の厳しい選択
- 地産地消とリサイクルの推進
- 道路構造の見直しなど、県独自の考え方の推進

上手に使う

計画的なメンテナンスの実施による施設寿命の延伸など、積極的かつ計画的な維持管理により、良質な既存ストックの保全を図ります。

- 既存の施設を上手に使い、みんなで育む道路
- 地域の歴史、風土に根ざした道づくり